

水産物の市況について(令和7年7月及び令和7年8月)

—東京都中央卸売市場における令和7年7月(令和7年6月21日～令和7年7月20日集計)の市況と、
令和7年8月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和7年7月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からやや減少で推移し、前年同月比でもやや減少で推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、前月からやや強含みで推移し、前年同月比でもやや強含みで推移しました。

II 令和7年8月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

今後も小型サイズ主体の漁獲が続き、鮮魚サイズの水揚げが少ないとみられ、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀さけ主体に横ばい、さけ類全般が高値で推移していることから、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

産地の水揚げは秋季まで低調に推移すると予想され、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

今後も全般的に低調な漁模様が続きと予想され、生鮮物の東京への入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。
冷凍物は、入荷量は横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

引き続き九州を中心とした水揚げがみられると予想され、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

8月の近海竿釣りはお盆の休漁で出漁隻数が減少することから、東京への入荷量はやや減少し、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	7月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
7年	25	1,591	27	1,524	27	1,508
前年	27	1,517	28	1,424	26	1,437

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	7月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	374	84	71	88
さけ類(平均)	1,444	99	116	131
(ぎんざけ塩蔵品)	1,399	96	110	131
(あきさけ塩蔵品)	1,510	134	121	150
(べにざけ塩蔵品)	1,484	86	104	109
(さけ類冷凍品)	1,507	100	122	138
さば(生鮮品)	492	109	91	108
するめいか(平均)	1,050	93	84	126
(生鮮品)	917	89	77	115
(冷凍品)	1,930	100	117	165
あじ(生鮮品)	638	93	73	88
まぐろ(冷凍品)	1,735	100	110	107
(めばち冷凍品)	1,229	106	115	110
(きはだ冷凍品)	1,104	111	119	106
(くろまぐろ冷凍品)	3,101	102	99	98
(みなみまぐろ冷凍品)	2,103	100	104	102
かつお(生鮮品)	1,194	111	184	214

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:7月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは令和2年～令和6年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6618 中島、山崎

直通 03-3591-5613